

都市再生整備計画 事後評価シート
寝屋川市東部地区

平成30年3月

大阪府寝屋川市

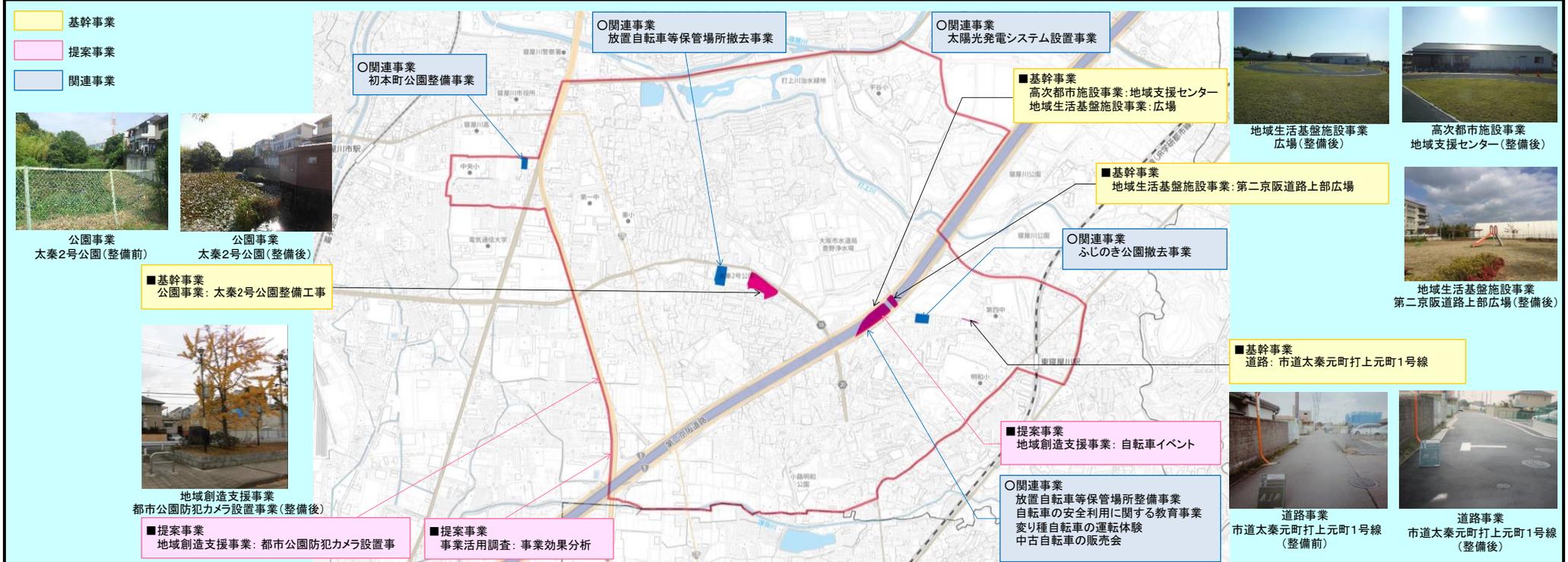
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府		市町村名	寝屋川市		地区名	寝屋川市東部地区			面積	360ha		
交付期間	平成25年度～平成29年度		事後評価実施時期	平成29年度		交付対象事業費	545.1	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(市道太秦元町打上元町1号線)、公園(太秦2号公園整備事業)、地域生活基盤施設(第二京阪道路上部広場、広場)、高次都市施設(地域交流センター)										
		提案事業	地域創造支援事業(研修棟、自転車イベント)、事業活用調査(事業効果分析)										
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし										
提案事業		なし											
新たに追加した事業	基幹事業	なし											
	提案事業	地域創造支援事業(都市公園防犯カメラ設置事業)			施設の適正利用や犯罪防止を図るため、平成23年度より市内の都市公園に防犯カメラの設置を順次実施しており、安全・安心な魅力あるまちづくりを一層推進するため追加。			新たな目標の追加とそれに対応する指標及び数値目標の追加。					
交付期間の変更	当初	平成25年度～平成29年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	自転車に関するイベント	回	2	H24	4	H27	6	○	あり	平成25年4月より「寝屋川市自転車安全利用条例」の施行、平成26年度に自転車の駅の開設など、自転車利用者への交通安全意識の向上を図る環境が整備されたとともに、近年、自転車を取り巻く環境も変化し、関心も高いことが、イベントの回数増加につながった。	-	
	指標2	自転車関連事故件数の低減	%	31	H23	25	H27	24	○	あり	平成25年4月より「寝屋川市自転車安全利用条例」の施行等、警察や地域と連携して、自転車の安全利用向上へのPRや啓発に取り組んだことにより、自転車関連事故件数は当初の391件から209件、自転車関連事故の割合も31%から24%と減少し、大阪府や大阪市に比べ事故割合の低減につながった。	-	
	指標3	周辺地域の満足度	%	35	H24	45	H29	23	△	あり	危険な道路を整備することで、安全安心な通行空間の確保、公園整備では、「寝屋川再生ワークショップ」での検討の実施、公園・緑地等植栽サポーター事業の取り組みなど、本事業を通して市民協働での取り組みが行われているものの、満足度10%向上へつながるところまでは至らなかった。	-	
指標4	街頭犯罪認知件数	件	2,114	H25	1,980	H27	1,577	○	あり	平成23～27年度に主要な都市公園に順次防犯カメラの設置を行い、平成27年度に寝屋川市防犯カメラ設置補助金を創設したほか、警察とも協議の上、市内の主要幹線道路などへ防犯カメラの設置を進めることにより、街頭犯罪認知件数を低減することができた。	-		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	自転車の駅の利用者数	人	7,749	H26			11,420(H28)				平成26年度に自転車の駅が開設し、自転車利用者への交通安全意識の向上を図るため、イベント等を行い活用した結果、開設年の7,749人から約1.5倍の利用者数増加につながった。	-
その他の数値指標2	周辺地域の満足度(犯罪が少なく、安全なまちである)	%	9	H27			15(H29)				前回の平成27年の市民意識調査では、「思う」「少し思う」が9%と低かったが、本年度の調査では、15%と増加しており、防犯カメラの設置などの取り組み等が増加につながった。	-	
4)定性的な効果発現状況	太秦2号公園では、整備にあたり、平成26年度から地域住民や地元大学などが参画する「寝屋川再生ワークショップ」で公園整備の構想段階から議論を行い、「自然環境をできるだけ残した保全優先型の整備」とする方針が示されるなど、市民協働の取り組みによる検討が肅々と進んでいる。												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況			今後の対応方針等				
	モニタリング	平成29年度の市民意識調査を実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた			● 隔年で実施の市民意識調査を分析し、市民協働への取り組みや整備など、今後の地域づくり、まちづくりに活かしていく。				
	住民参加プロセス	太秦2号公園の整備にあたり、平成26年度から地域住民や地元大学などが参画する「寝屋川再生ワークショップ」での検討公園・緑地等植栽サポーター事業による取り組みの実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた			● 太秦2号公園でのワークショップ等の取り組みを活かしながら、周辺地域の住民に親しまれる公園づくりを図っていく。				
	持続的なまちづくり体制の構築	公園・緑地等植栽サポーター事業による取り組みの実施(平成28年度～)				都市再生整備計画に記載し、実施できた			● 市と地域住民との協働による魅力ある緑化の推進に向けて、市が管理する公園・緑地等の既存花壇を有効活用しながら、市民協働でのまちづくりを進めていく。				

様式2-2 地区の概要

寝屋川市東部地区(大阪府寝屋川市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: うるおい(にぎわい・景観・緑)とやすらぎ(安全・安心)の協創により、魅力あるまちづくりを創造し、地域の活性化を図る。 目標1: 寝屋川市東部地区において、周辺の公園や緑地を連続した、緑のある景観の創出を図る。 目標2: 第二京阪道路の上部において、広域性、周遊性を活かした、交流、教育の場を創造し、市内の自転車事故の減少及び地域のにぎわいとやすらぎの創出を図る。	自転車に関するイベント	単位:回	2	H24	4	H27	6	H27
	自転車関連事故件数の低減	単位:%	31	H23	25	H27	24	H27
	周辺地域の満足度	単位:%	35	H24	45	H29	23	H29
	街頭犯罪認知件数	単位:件	2,114	H25	1,980	H27	1,577	H27



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ○太秦2号公園の整備においては、公園整備の構想段階から、「寝屋川再生ワークショップ」の取り組みを実施し、市民協働でのまちづくり進めることができた。 ○自転車に関する交通安全意識の向上を図るため、「自転車安全利用講習会」や「出前講座」等を実施し、自転車の事故件数は減少することができ、自転車に関する交通安全意識は高まっている。 ○主要な都市公園への防犯カメラの設置によって、街頭犯罪認知件数を減らすことができたが、今後は設置した防犯カメラの維持管理について検討していく必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○警察との連携をより強化しつつ、「自転車安全利用講習会」や「出前講座」等を継続実施することで、市民へ自転車に関する交通安全意識の向上、意識付けを図る。 ○市民参画による取り組みを継続的に進めることができる支援の体制づくりを図る。 ○防犯カメラの適切な維持管理(メンテナンス)を図るとともに、地域と連携した防犯パトロールなどを行い、地域の防犯意識の向上を図る。 ○公園整備などのハード施策以外の取り組みの検討を行い、実現可能なみどり施策の推進を図る。